

**第3期行田市まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)に対する
市民意見募集(パブリックコメント)の実施結果について**

1	意見募集期間	令和7年2月12日(水曜日)～令和7年3月13日(木曜日)	
2	意見提出者数	1名	
3	意見件数	1件	
4	市民意見募集手続結果の内容		
	基本目標2について		
	意見等の概要	市の考え方	修正
	<p>基本的方向の「市の回遊性向上や、ウォークアブルなまちづくりの推進」には賛成するが、その実現には駅前の再開発等が必須である。子どもや高齢者など車を持っていない人たちも含めてまちなかの利便性を向上させるためには、駅前の再開発や市街地へ商業施設の集約化は必須であり、もっと大胆な方針を示してもらいたい。</p> <p>具体的な取組例に「都市機能の集約化」や「中心市街地の活性化」とあるが、それに密接に関連するKPI等が設定されておらず、現状どの程度まで進捗しているのか、どれだけ達成したいのかわからない。</p>	<p>本市では、今後の人口減少社会を見据え、「行田市立地適正化計画」において都市拠点として位置付けた秩父鉄道行田市駅周辺に、医療・福祉・商業等の様々な機能を集約させていくこととしています。また、行田市駅周辺を含む中心市街地において、歩道の段差解消や休憩スペースの設置など、歩いて暮らせるまちづくりに向けた整備を進めていく予定です。なお、行田市駅を中心とした市街地再開発事業などの面的な都市基盤整備を行う予定はありません。</p> <p>KPIについては、「中心市街地の活性化」に関連するKPIとして、「足袋蔵などの歴史的建造物の利活用件数」を設定しています。「都市機能の集約化」については、長期にわたる取組みであることから、5年間を計画期間とする本計画にこれに直接関連するKPIを設定することは困難であり、今回は設定しておりません。</p>	なし